



政策会議 議事概要

開催日	令和5年1月20日	場所	市役所本庁 4階会議室
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 市長公室長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部長 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部長 <input checked="" type="checkbox"/> 健康福祉部長 <input checked="" type="checkbox"/> 産業部長 <input checked="" type="checkbox"/> 農業委員会事務局長 <input checked="" type="checkbox"/> 建設部長 <input checked="" type="checkbox"/> 一宮市民局副局長（代理） <input checked="" type="checkbox"/> 波賀市民局長 <input checked="" type="checkbox"/> 千種市民局長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部長 <input checked="" type="checkbox"/> 会計管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 議会事務局課長（代理） <input checked="" type="checkbox"/> 総合病院副院長兼事務部長		
議題	水道料金等助成規則の一部改正について		
総合計画での位置付け	基本目標 1. 住み続けたい、住んでみたいまち 基本方針 ②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり 基本施策 【8】道路網・上下水道の整備・維持		
総合戦略での位置付け	—		
現状	平成24年1月の上下水道料金改定時に、生活困窮者の負担増への支援策として水道料金の福祉制度を創設した。また、平成26年からは、空き家に対する水道料金・下水道使用料の軽減制度、自治会管理施設等に対する公益減免制度を創設し、現在3つの助成制度を運用している。		
課題	このたびの料金改定に伴い、福祉世帯への水道料金等助成について、現行の規則のままでは、改定による増額分が受給者負担に上乗せされることになり、受給者の自己負担額が大きくなる。		
決定事項	<p>【福祉制度の改正】</p> <p>○助成額の変更 水道料金の改定及び激変緩和措置の実施に併せて、福祉世帯水道料金等助成額を改定し、福祉世帯の水道料金の負担増を抑制する。</p> <p>○助成期間の延長 助成期間を令和11年3月31日まで5年間延長する。</p> <p>【空き家助成制度の廃止】 空き家水道料金等助成は、令和6年3月31日をもって廃止する。</p>		